



新年あけましておめでとうございます。
日頃より、私どもの「山と心に木を植える、事業に対してご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。
JR東労組の皆様が足尾等で植えた木々たちは、CO2を吸収する「いのちを育む森」に育っています。
この地球上で生きていくためには「森と生きる人間の抵抗とヒューマンズム」が欠かせません。
今年は足尾で植樹をはじめ20年を迎えます。森づくりで培ってきた「森は友だち！森に寄り添っていかねば生きていけない人間、生物社会の一員にすぎない人間、という冷厳な現実を再認識し、働く者の「抵抗とヒューマンズム」を養っていききたいものです。
本年も変わらぬご支援・ご協力のほど、よろしく願い致します。

森びとプロジェクト
代表 桜井 勝延

2025年 連帯メッセージ

(敬称略・順不同)



JR東労組の皆さま
謹んで新年のお喜びを申し上げます。
昨年は年明け早々に能登半島の地震に見舞われ、日本人の誰もが、生きてゆくことの難しさをつきつけられた年でもありました。
そして戦後八〇年の節目の今年、世界はますますの不安を孕んでおります。
人の生命を安全に運ぶ使命を担う皆様も、人々の絆、愛の力を確かめ合う演劇に身を置く私たちも、平和無くしては仕事を全うする事が出来ません。
「抵抗とヒューマンズム」。
私達が決して失いたくないものの為に、今年も連帯して、より良い明日に近づくための努力を続けましょう。
ご健闘を祈ります。

劇団文化座 佐々木 愛



戦後80年に誓う!! 海勢頭 豊
JR東労組の皆様、これまでの「抵抗とヒューマンズム」の闘いの歴史に改めて感謝します。沖縄は、戦後日本を憲法9条を掲げる祖国と信じて復帰しましたが、しかし日本は、戦前と変わらぬポツダム宣言受諾違反の神国で、米軍の管理下に置かれた偽独立国家でした。従って、9条の絶対平和を守る東労組の皆さんの闘いと沖縄の闘いは、明治以降の皇統を正し、歴史の真実で日米同盟を正すことでなければなりません。今起きている不条理は、辺野古の龍宮神ジユゴンが皇統の嘘を暴く神獣であるが故です。また9条の龍宮信仰から生まれているからです。連帯して頑張りましょう！
(沖縄9条連帯共同代表。ジユゴン保護キャンペーンセンター共同代表)

政治経済学者 植草一秀
敗戦から80年、日航ジャンボ123便墜落から40年、阪神淡路大震災から30年、JR西日本福知山線脱線事故から20年という節目の2025年。日中国交正常化から53年が経過しますが、「中国の脅威」という不確かな情報流布されて日本は米国の指揮の下で新しい戦争に突き進む前のめりの姿勢を強めています。
JR東労組は平和、人権、民主主義の旗を掲げ、「抵抗とヒューマンズム」を合言葉に労働者の人権を守り、平和の確立を民主主義の下で実現するために奮闘を重ねてこられました。この活動の重要性が一段と高まっている現局面です。JR東労組の一段のご飛躍とご隆盛を心から期待するとともに、微力ではありますが大いなる連帯に力を尽くして参ります。本年もよろしくお願い致します。

戦後80年、2025年の幕が上がりました。
年明けすくすの1月17日、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。肉親が住む神戸を襲ったこの未曾有の被害から学んだことは、国は決して私たち市民を助けてくれないということでした。30年たった今でもあまり変わったようには思えません。市民自らが立ち上がり、大きな声にならなければ変わらないでしょう。
問題続発の今、全ての人々が等しく安全・安心に生きていくためには「抵抗とヒューマンズム」を掲げる貴組合の力が必要です。貴組合の力強い発展を祈念いたします。新しい年を爽りあるものにいたしましょう！
近藤日佐子



新年あけましておめでとうございます。
日夜、安全、安心な鉄道運行を支え、通勤、通学、旅客鉄道業務に従事されるJR東労組の皆様、心より敬意を表します。また、「抵抗とヒューマンズム」を基調に反戦・平和を訴え続ける皆様に、深甚なる連帯を表明させていただきます。
本年は、戦後80年の節目を迎えるなかで米大統領に再任するトランプ氏による、対日防衛費増額の要求が強くなると予想されます。対中圧力をかけ、その包圍網の一環に我が日本を組み込もうとの戦略的からです。在日米軍の指揮下に自衛隊を入れ、超憲法体制の陣形を構築しようとしています。そのために、メディアで「台湾有事」が喧伝されてきました。我々は断固として従米改憲策謀に反対し、日本の真の独立と平和を勝ち取る決意です。
本年もJR東労組の皆様から大いに刺激を受け、我々も活動に邁進してまいります。従米戦争準備が益々迫りくる節目の年、各位が持ち場で平和を守るために、闘いに精進していきましょう。
令和7年 元旦
一水会代表 木村 三浩

タイ国鉄労組 (SRUT)
JR東労組加藤委員長、執行部、組合員の皆様へ。
タイ国鉄労組全ての組合員を代表して、この重要な節目に私たちの友情を確認しメッセージをお送りできることを光栄に思います。
タイ国鉄労組は、権利、自由、公平と職場の安全を守る皆さんのたたかいを永久に支持します。特に第二次世界大戦から80年、それは罪なき人々への残酷な歴史であり、世界大戦につながるいかなる火種にも私たちは共に抗し、そしてこの世界に恒久的な平和をもたらすために共にたたかいます。
福知山線脱線事故から20年、タイ国鉄労組は被害に遭われた方々へ謹んで哀悼の意を表します。このような事故を2度と起こさないための取り組み、そして、東労組の皆さんのたたかいを支持します。
最後に、JR東労組の皆さんの力強いたたかいと繁栄がこれからも続きますことを心より願って連帯のメッセージとします。
サラウット・サランウォン
タイ国鉄労組委員長



ICLS韓国委員会
明けましておめでとうございます。
ICLS韓国委員会は、JR東労組の「抵抗とヒューマンズム」に基づいた、職場の安全を守って、反戦平和を実現するための闘いを支持し、連帯を表明します。
今回の総選挙で、自民党政権に対する国民の審判があったものの、日本の軍事力強化の動きは続いているし、鉄道産業全体における安全問題や労働者の権利が脅かされている現実です。これは、韓国の鉄道や地下鉄でも同じであり、全世界的な現象でもあります。
JR東労組のみなさんの闘いは、我々すべての労働者の闘いでもあります。
ともに手をつないで、より良い未来のため力強く前進しましょう！

ニュージーランド鉄道海事労組 (RMTU)
JR東労組の兄弟姉妹の皆様へ
ニュージーランド鉄道海事労組 (RMTU) は、東日本旅客鉄道労働組合 (JR東労組) との友情と連帯、日本とニュージーランド、そしてそれぞれの組合の関係を重要なものと考えます。
私たちRMTUは、世界中の労働者のために平和で安全な環境をつくりだすことに尽力しています。
私たちは第二次世界大戦終結から80年を迎え、戦争が両国に与えた影響を認めます。私たちは、太平洋での紛争にモコプナ (子どもたち) を送り込み、悲惨な結果を招きました。ニュージーランドは戦後、広島を占領するために軍隊を派遣し、放射能の影響を日本の皆さんと共有しました。ニュージーランドはこの40年間核兵器を保有しておらず、二度と世界大戦が起きないことを望んでいます。
RMTUは鉄道における健康と安全を何よりも重視し、生産性が安全よりも優先されるべきではないと考えます。私たちは福知山線脱線事故を忘れていません。2005年4月25日に亡くなった107人のことを忘れません。過去の過ちを繰り返さないために、私たちが過去の過ちを記憶しておくことが重要です。命は貴重であり、家族は大切です。そして私たち鉄道の仲間は、「安全な鉄道」のために団結しているのです。
連帯と団結を永遠に、
トッド・ヴァルスター
RMTU書記長

韓国公共運輸社会サービス労働組合 (KPTUI)
韓国の鉄道や地下鉄など25万人の労働者を代表する 韓国公共運輸社会サービス労働組合 (KPTUI) を代表し、安全な職場と平和な社会の実現を目指すJR東労組の機関誌を通じて、ご挨拶できることを嬉しく思います。
2025年は、韓国の解放80周年、日本の被爆80周年にあたり、KPTUIは、両国の労働者が敵対や対立を超えて共に平和のために取り組む意義深い年となることを願っています。それは、韓日両国の平和にとどまらず、北東アジアの平和、さらにはガザやパレスチナをはじめとする世界各地の紛争の終結にもつながるものです。
さらに、KPTUIは、列車保守作業員の白血病を含む安全事故や、労働力不足による鉄道作業員の死亡事故を含む頻繁な労働災害を防止し、労働者の労働安全衛生 (OSH) 権を強化するために取り組んでいます。私たちは、福知山線脱線事故から20年を迎えるにあたり、鉄道における労働安全衛生 (OSH) 権の確立を求める闘いにおいて、私たちはJR東労組の同志たちと常に連帯していく所存です。この事故では乗客106名が命を落とすという、最悪の鉄道事故の一つとなりました。新年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。また、連帯を楽しみにしております。



組合員・ご家族の皆さん、明けましておめでとうございます。
この間、多くの仲間の皆さんに、憲法9条を守り掲げ、一切の戦争政策に反対する姿勢を貫き、世界平和の実現に向けて歩を進めてきました。仲間の皆さんのご支援・ご協力に心より感謝を申し上げます。
9条連「結成30年」を迎え、日本は「新たな戦前」への転機を迎えました。その総仕上げとして憲法9条に「自衛隊を明記する」ことを検討しています。9条連は結成時の原点に立ち返り、日本国憲法の前文に示されている「平和憲法」の理念を学び直し、憲法9条改憲に反対し、恒久平和な社会をつくり上げていきます。今後も「9条連ニュース」の継続・拡大への呼びかけをはじめ、9条連へのご支援・ご協力をお願いいたします。
憲法9条一世界へ未来へ連絡会 (9条連)

安全マネジメントにおける労使の役割
日本ヒューマンファクター研究所 所長 桑野野紀
今年には昭和100年と言われているが、第二次世界大戦終戦から80年、日航機御巣鷹の尾根墜落事故から40年、阪神淡路大震災から30年、JR西日本福知山線脱線事故から20年という節目の年ということになる。そう考えると、今年には職場の安全に一層注力すべき年であろう。
安全をマネジメントして行くことは労使共通の利益追求になることを考えれば、安全の問題は労使が同じラウンドテーブルについて対等の立場で話し合うことが非常に重要である。安全マネジメントは労使紛争の課題にするのではなく、労使協力し合って解決に当たる姿勢を、労使双方考えていただきたい。
このことひとつだけでも実現できれば、職場の安全は高まっていくことであろう。今年が安全で良い年になることを願ってやまない。

安全アドバイザー 吉村秀實
JR東日本が発足直後に本社内に「鉄道安全問題懇談会」が設立されました。
『鉄道の安全に関しては、経営者側と組合側が争っている時代ではない』が設立の主旨でした。座長役の黒田勲さんは『そもそも世の中に安全は存在しない。常に存在するのが危険であり、組織をあげて考え作り出すものが安全である』と定義していました。「安全第一」(Safety first)は100年以上前に、USスティール社が提唱した社是で、品質が第二、経営が第三とあり、安全と経営とは中々両立し難いことも学びました。
近年の鉄道事故や火災などを振り返って見ると、どうやら安全よりも経営が優先されているように感じてなりません。
一旦製造されたものは必ず経年劣化し、やがては壊れる運命にあります。鉄道施設に限らず、劣化を防ぐための保守・保全作業には気の遠くなる様な人材と時間が必要です。今こそJR東日本発足当時の原点に戻って欲しいと思っています。

